

令和6年8月16日

東部農林水産振興センター出雲農業部

標 題	<p style="text-align: center;">— 50名が集い、盛大に開催—</p> <p style="text-align: center;">学生と農業士による出雲農業の未来を語る交流会</p>
------------	--

(ダイジェスト)

去る7月11日、出雲地方農業士会は、出雲農林高校及び農林大学校の生徒・学生を対象に、出雲地域の農業に理解を深め、職業として農業を選択するきっかけとしてもらいたいと、標題の交流会を開催しました。生徒・学生26名、農業士7名、その他農大出身の先輩農業者や関係機関、総勢50名が集結し、視察や意見交換を通じ、にぎやかに交流を図りました。

本交流会は、当事務所、出雲地方農業士会、出雲市農業再生協議会及び斐川町地域農業再生協議会の共催により開催するもので、昨年度に引き続き2回目となります。

今回は、出雲農林高校から11名、農林大学校から15名の生徒・学生さんに参加いただき、農業士や関係機関と一緒に、市内3か所の農場視察、昼食交流、意見交換を行いました。

視察は、施設花き（鉢花）経営の農業士、雇用人材を募集する水稻農家、ぶどうを経営し研修生の育成も担う農業法人を訪問しました。経営者から説明を受けた他、視察先で雇用されている農大OB・OGからも、農業現場で働く様子や今後の目標等について話を聞きました。

その後、多伎町のキララコテージに会場を移し、昼食はバーベキュー交流会を行いました。和気あいあいとした雰囲気の中で、農業だけでなく、進路や学校生活のことなど、様々な話をしながら、情報を交換し、互いに刺激を受けていた様子でした。

意見交換会では、ぶどう、花き、野菜、水稻で各2グループ、全8グループに分かれ、生徒・学生から農業士や先輩農業者に聞いてみたいことを質問しました。「農業の魅力は?」「10年後の農業はどうなっているか」「学生時代の過ごし方」「栽培技術や栽培管理について」等、各グループで様々な質問がありましたが、農業士からは豊富な経験に基づくアドバイスが、先輩農業者からは体験談や率直な感想等が話され、時間いっぱい盛り上がった意見交換会となりました。

参加した生徒・学生へのアンケートでは、「色々な人から多くの意見を聞くことができ、とても有意義な時間になった」「将来についてより一層考えを深めていきたい」「(農林高校生)改めて農林大学校に行きたいと思った」「今後の進路を決める良いきっかけになった」等の感想が寄せられ、それぞれ実りのある交流会となったことが窺えました。

当農業部としては、今後も農業士会及び関係機関と連携し、農業の担い手確保に向けた取組みの一環として、本交流会を継続すると共に、新たな取組みも模索していきたいと考えます。



水稻農家視察



バーベキュー交流会



意見交換会